

10月21日から23日と総務委員会行政視察を行いました。紙面の限りもあるので、その一部を報告いたします。

21日は**北九州市**において、ミニ公募債・防災対策・消防庁舎を視察いたしました。ミニ公募債とは、市民に広く購入してもらう市債で、販売対象を市内の個人や企業に限定しており、北九州市の場合は、博物館や公園等の整備費に充てます。ミニ公募債の発行目的は二つあります。一つは資金調達先の拡大で、背景には地方債を銀行が引き受けにくい状況になっていることと、地方分権の流れを受けて、資金自己調達の必要性が高まっていることがあります。もう一つは、市民から投資していただくことによって、市財政や市政全般への関心が高まることを期待しています。5年物国債を若干上回るような利率を設定したこともあって、過去2回の発行は即日完売となっており、資金調達先は確実に拡大したと言えるでしょう。しかしながら、市政への関心が高まったとの確かな手ごたえは、今のところないそうです。この日の視察では、6人の議員が17項目の質問をいたしました。

22日は、**佐賀市**において市町村合併の視察、**長崎市**において原爆死没者追悼祈念館の視察を行いました。佐賀市を中心とした1市6町で合併協議が進んでいるのですが、興味深かったのは議員身分の取り扱いです。長岡地域同様、議員身分についての意見集約は難航しておりますが、在任特例（旧市町村の議員が引き続き新市の議員となる）を採用する場合には、①任期は1年②議員報酬は最も低い町の報酬に統一③地域審議会を設置しない、ということに決めました。この形式は、長岡地域では議論されておらず、全国的にもユニークと思われるので、参考にしたいと感じました。また、「合併しても財政が豊かになるわけではないので、市民に“夢のある合併”と説明することはできない」と担当者が話していたのが印象的です。この日の視察では、5人の議員が13項目の質問をいたしました。

23日は前日に続き、**長崎市**において平和推進事業・PFIによる消防庁舎建設事業を視察しました。現在、消防庁舎へのPFI導入可能性調査中とのことです。

また、視察項目にはなかったのですが、市町村合併についても話をお聞きすることができました。長岡地域と同様に平成17年3月の合併を目指していますが、こちらも佐賀市と同じく議員身分については特色ある方式を考案しました。具体的には、①定数特例を2回続ける②地域審議会は平成19年までの設置とし、周辺町村で失職した議員は地域審議会の委員となる③地域審議会委員の月額報酬は10万円程度とする、ということです。この日の視察では、5人の議員が9項目の質問をいたしました。

文教社会委員会では委員8名が10月7日から9日までの3日間、下記の3カ所を視察しました。

最初の視察地、**三重県明和町**は、伊勢湾に接し、松阪市と伊勢市に挟まれた、人口2万3千人の町。町立明和中学校の図書館の民間委託は、14年度から始めたもので、生徒の興味を引きやすい本を目立つように、表紙を見せて置いたり、新着本や文庫本の専門コーナーなどを設置。また室内を明るい装飾にするなど、学校図書室を書店のような雰囲気演出した結果、貸出数が倍増。部屋のテーブルにはセピア色のテーブルクロスがかけられ、紅葉などの落ち葉を配して秋を演出していました。

改革を進めてきた町の教育長は「子どもたちはもともと本を読むのが好きであって、環境さえ整えば読むんです」と胸を張っておられました。

「人件費は一校あたり330万円で、経営は苦しいが、新しい図書館のあり方を求めて頑張っています」とは委託会社の代表の話。

帰り際に、校舎前で車を待っていた私たちに何人かの女子生徒から「こんにちは」と、明るく弾んだ声が飛んできたのが印象的でした。

次は**豊橋市**の市営池上住宅。市は愛知県の東に位置し、伊勢湾に接した県内2番目の大都市で、野菜などの農業生産額は25年連続して日本一です。

この市営住宅は14年度に完成したもので、高齢社会に対応した共同居住型と環境に配慮した環境共生型とを組み合わせた新しいタイプの集合住宅です。

特徴としては、高齢者が車いす生活になっても自立した生活を続けることができるような工夫がされているほか、談話室や菜園などを共同で管理することによって団地全体に一体感が芽生え、入居者同士がお互いに支えあいながら生活することができます。また、高齢者の部屋を3階に配置していますが、コレクティブ方式といって棟と棟を通路で結び自由に行き来できるようにしています。

3日目の**富士市**は富士山の南に位置し、人口は23万8千人。70以上もの製紙工場がある紙の町。財政力指数が1を超えていることから、国から地方交付税を受けていません。

この町に建つ保健福祉センター「フィランセ」は保健福祉と子育て支援の複合施設であり、13年度に完成した施設。鉄筋コンクリート造り地上4階建てで、敷地面積9,350平方メートル、建築面積3,500平方メートル、総事業費は15億4千万円とのこと。

特徴としては、すべての人にやさしいユニバーサルデザインを採用しており、ハートビル法の厳しい基準をクリアした認定施設で、館内の案内や火災などの緊急時には、音声と文字で知らせるシステムを備えています。この建物は、保健福祉センター、男女共同参画センター、消費生活センター、ファミリーサポートセンター、地域子育て支援センターで構成されています。登録団体による利用が多く、170団体が登録。昨年度は16万人が利用したとのこと。

視察が終わって高く澄み切った秋空を見上げると、日本一の富士山が私たちを見送ってくれていました。

当委員会では10月16日（木）～18日（土）にかけて下記の視察をしましたので報告いたします。

長岡市においても中心商店街の低迷・空洞化が言われる中で、まちの明るさ・にぎわいの復活が模索されていますが、最初の視察地、**大分市**では、市独自の取り組みである、おおいた『元気印』まちづくり応援事業について視察しました。本事業は、「地域ふれあい創出応援事業」と「魅力にぎわい創出応援事業」の2事業を助成対象としており、①活性化、にぎわいの創出、②伝統文化の継承、発展、③事業の継続性を事業選考に当たったの基本原則としています。前者の事業の助成額は、100万円が上限で、これに認定された事業の中には、人形山車（にんぎょうやま）等の改修があり、各地域で守り続けられてきた伝統芸能などの衰退を防ぎ、再度継続への原動力となった点が参考になりました。後者は、サッカーワールドカップの開催地として建設したビッグアイを積極的に利用推進させるための事業であり、いわゆる今ある施設をどうやって有効に市民に利用推進させるかという点が参考になりました。

17日の午前は、**大分県山香町**にある大分農業文化公園を視察しました。ここでは同じ農業圏である新潟県長岡市にはない、農業文化公園の仕組みと特長についての話を聞きました。この公園はもともと県が自然と親しみながら農業・農村の文化を学習する場として平成13年に開園したもので、内容は違いますが国営越後丘陵公園と類似したものと言えます。ただ園内には、動物園や花昆虫館など農業以外の施設もあり、知って、遊んで、憩える新しい『農業・農村』の発信基地として参考になりました。

午後は、**別府市**で「もったいないねット」について視察しました。ここではごみの減量・有料化を踏まえた、粗大ゴミや不用品の再利用についての話を聞きましたが、本事業は市民の生活用品で、譲る・求める・差し上げる品物をリストにまとめ、それぞれの関係者の橋渡し役をするもので、とても興味深い事業でした。

18日は、大分市で開かれた大分県農業祭を見学しました。これは大分スポーツ公園ビッグアイ周辺の広大なスペースを利用して、県全体の農産物の展示紹介・即売を中心とした大規模な祭りでした。長岡では、10月下旬にハイブ長岡でやっている農業まつりがありますが、会場では消防の式典もやっており、相乗効果で大変な活気がありました。

建設委員会は、去る10月14日～16日まで下記の三ヵ所を視察しました。

宮崎市では、中心市街地活性化について視察しました。中心市街地が衰退の色を濃くしていった背景に、モータリゼーションの進展、大型店等の郊外立地、居住人口の減少と高齢化、商業活動の低下等を挙げ、過去の投資の有効活用と環境負荷の小さなまちづくり、多様な都市機能集積による生活利便性とサービスの多様性と質の向上、都市の再構築等に向けた生活空間としての中心市街地等、活性化の意義を掲げ、「夢を育むみんなの街」を目指している。

なお、中心市街地には県庁があり市役所もある。また観光客も年間586万人が訪れるにもかかわらず、シャッターがおりる店舗が多いという、中心市街地活性化の難しさの一面も感じた。

都城市では、線引きの廃止について、シビックコア地区整備計画について視察しました。

●線引き廃止について

線引きをして16年が経過したころ、調整区域において、小中学校の児童数の減少や高齢化、住宅建設の規制を受け、工場建設が規制され就労の場の確保が難しい等から、地域社会の維持が困難となり、生活や生産の場として地域の活性化が求められた。

廃止後における状況は、2～3年は調整区域に位置したところでの住宅建設が盛んになり人口も増えたが、大きな問題も起きていないし、廃止の目的であった過疎化問題も解決し一応の成果を上げているとのことであった。

長岡市も合併に際して線引きの問題も出てくるであろうが、あまり外すことだけに主眼を置かず、地域性を考慮し住民意見を十分に反映し、長期的展望に立った検討が必要で、それぞれの地域で責任を持ったまちづくりを展開させ、特色のあるまちづくりを考慮することが大切であると感じた。

●シビックコア地区整備計画について

中心市街地活性化基本計画と、官庁施設の老朽化対策とが重なり、平成12年シビックコア地区整備計画の策定に対し建設省承認を受け、都城合同庁舎建設に着手した。

☆入居予定官署は次のとおり

・宮崎地方検察庁都城支部・区検察庁、宮崎地方法務局都城支局、都城税務署、九州農政局都城統計・情報センター、都城労働基準監督署、ハローワーク都城

鹿児島市では市水道局の下水汚泥堆肥化工場サツマソイルについて視察しました。

堆肥化工場は昭和56年運転を開始し現在まで21年経過している。サツマソイルとは、下水処理場から発生する汚泥脱水ケーキを、約40日かけて好気性微生物により発酵させ堆肥化したもの。汚泥が発酵する過程で、温度が70℃～80℃に上昇することにより、病原菌や雑草の種子等は死滅し、取り扱いやすい有機質肥料になる。この石灰や窒素、りん酸を多く含むが加里分が少ない肥料のことである。

また施設運営はすべて委託して、運転、日常の点検、堆肥化作業、肥料の販売等も行う。

議会運営委員会では委員9名と正副議長とで、11月18日から20日までの3日間、下記の3カ所を視察しました。このたびの視察は、①各市議会の議会運営の比較②議会活性化への取り組み状況③市町村合併の進捗状況、これら3点を主な調査目的として実施しました。各市議会の議会運営の比較の詳細は、別紙をご覧ください。

最初の視察地、**津市**は人口16万4千人ながら、古くは安濃津（あのと）と呼ばれ、日本三津（津は港を意味します。）に数えられた港町で、伊勢参宮の宿場町としても栄えてきました。三重県の県都として、国、県の行政機関や三重大学などの教育機関が立地し、都市としての活力を感じました。

議会活性化については、ホームページの開設、本会議質疑の持ち時間制の導入、委員会の会議及び会議録全文記載の公開、議会だよりのリニューアルなどに取り組みられてきました。市町村合併については、平成14年2月に11市町村で設置した任意合併協議会の協議が同年12月で終了し、平成15年1月には9市町村で法定協議会に移行。同年3月に1村が加入し、現在10市町村で平成17年1月を目途に協議中で、合併方式は新設、名称は津市、庁舎は現在の津市役所ということが確認されています。また、議員身分については、法定協議会の議会代表者による任意の懇談会で調整後、法定協議会で協議される予定ということです。30万都市（中核市）を目指し11市町村でスタートしましたが、一部離脱で現在10市町村（人口約28万6千人）となった点が、長岡地域と類似しています。

豊田市の前身、挙母町（ころもちょう）は、明治から大正にかけて三河地方有数の繭取引地として栄えた養蚕の町でしたが、昭和恐慌後、生糸需用の不振を経て、昭和34年1月に自動車産業とともに成長・発展することを誓い、市名を豊田市（とよたし）に変更。その後、近隣市町村との合併により市域は拡大し、面積は愛知県下2番目、人口は3番目の拠点都市として発展し、平成10年4月には中核市に移行しています。

議会活性化では、会議録検索システムの導入、議会傍聴の改善、議会だよりのリニューアル、議会ホームページの開設などに努め、現在は議会活性化特別委員会を設置し、質問・質疑のあり方、会議規則・委員会条例の見直しなどに取り組んでいるとのこと。また、市町村合併については、8市町村で設置した合併研究会が終了し、今年10月に7市町村の臨時会で法定協議会の設置を議決し、11月に第1回豊田加茂合併協議会を開催したところとのこと。合併方式は編入、名称は豊田市と決定し、新市建設計画、議員定数などが主な協議事項となっています。合併すると人口が約5万人増えるのに対し、面積は918平方キロメートルと3倍強となり、都市内分権をどう推進するかが大きなポイントで、シミュレーションによれば将来は交付団体になることが予測されています。

3日目に視察した**さいたま市**は、平成13年5月1日に旧浦和・大宮・与野の3市合併により誕生。今年4月1日に全国で13番目の政令指定都市となりました。合併後、2年間は在任特例を使い、100人の議員によるマンモス議会を経験しています。4月の改選を経て、現在は予算・決算の審査方法、代表質問制の導入など、政令市にふさわしい議会運営について、全般的に見直しをしているということでした。移行期の2年間は何度も議会がストップしたということで、議会運営については、合併関係市町村の申し合わせ事項のすり合わせが重要であると示唆をいただきました。

地方議会も大きな変革期を迎えている今、その器となる議会運営についても日々改善を重ね、あるべき姿を大胆に模索していかなければならないと感じて視察を終えました。